

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|--------------|------------|--|
| 事業所番号 | 3670101389 | | |
| 法人名 | 医療法人 鴻志会 | | |
| 事業所名 | グループホーム サムデイ | | |
| 所在地 | 徳島市川内町平石若松95 | | |
| 自己評価作成日 | 令和元年12月30日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/ |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地 県立総合福祉センター3階 | | |
| 訪問調査日 | 令和2年1月29日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所では利用者様に「明るく楽しく安らぎと幸せを実感」を基本に毎月の行事では毎年新たな催しの慰問の方々をお招きし、最近では、慰問に行かせて頂きたいとの問い合わせも頂いています。文化祭出展作品作りや秋祭りには書道を展覧させていただいています。家庭的な雰囲気の中で安心して生活を送って頂けるよう毎週、主治医の往診と県の訪問看護協会との24時間オンコール体制と1階と2階、隔週での訪問を行って頂き、衛生管理、身体管理を行っています。環境面では季節毎の草花を育て、庭のミニ菜園では季節毎のお野菜や草花を育て利用者様には水やりのお手伝いをして頂いています。運営推進会議を通し、さまざまな講習も開催し、皆様に広く知って頂け、調剤薬局様のご協力によるシナプソロジーは市老連主催のふれあい大会〔藍住町〕で披露して頂け楽しく学んで頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、周辺に田畑の広がる穏やかな環境に位置している。事業所独自の理念として、“明るく楽しく、安らぎと幸せを実感”を掲げ、生活のなかで、利用者の笑顔や楽しみを引き出す事ができるような支援している。庭先のプランターで花を育てたり、事業所内に花を飾ったりして、季節感を感じることができるようになっている。老人クラブや保育園児などのボランティアの受入れや地域の清掃活動・廃品回収への参加などにより、地域との交流に取り組んでいる。地元の公民館や郵便局に、利用者の作品を展示してもらうことで、事業所に対する理解を得るとともに、地域と利用者が繋がることのできる機会を設けている。また、運営推進会議は、多様なメンバーの出席を得て実施している。毎回、外部講師による研修を実施して、職員や出席者の知識の向上や意識の共有化を行う場としている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当する項目に○印 |
|--|---|---|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | <input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | <input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | <input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 1階 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 職員全員で地域密着型の理念の意義をふまえた支援に取り組んでいます。 | 事業所では、“明るく楽しく、安らぎと幸せを実感”という、事業所独自の理念を掲げている。カンファレンスやミーティングなどの際に、理念について協議するなどして、共有化を図っている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の老人会の方々、約15名との2ヶ月に1回のカラオケ大会交流会、保育園児とのクリスマス会での交流会では、お遊戯や歌の披露、プレゼント交換。神社お祭りの掃除の手伝いと、お祭り作品展参加、文化祭作品展と交流も増えている。 | 事業所では、近隣の清掃活動や廃品回収に参加したり、近隣の公民館や郵便局に利用者の作品を展示したりして、地域との交流に取り組んでいる。また、定期的に、地域の老人クラブや保育園児の来訪も受け入れている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 11月16日、地域住民様、地域老人会、他施設職員、電気保安管理事務所様、利用者家族様に、呼びかけ、徳島市東消防署より3名の講師をお迎えし、普通救命講習を開催し21名が普通救命講習修了書を交付して頂け参加者様には楽しく学べた、また参加したいと言って頂けた。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では外部評価での結果を報告し、今後の取り組みについて話しています。研修報告、地域の行事等の情報も聞けており運営推進会議で出された意見を日ごろのケアにも反映しており、毎回講師の先生をお招きし勉強会を開催 | 2か月に1回、運営推進会議を開催している。会議には、利用者や家族、地域の代表者、民生委員、市関係者、他のグループホーム職員などの出席を得ている。会議では、事業報告以外に、外部講師による研修も実施している。出席者の意見等や研修で学んだ内容を、サービスの質の向上に活かしている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 市町村担当者様や包括支援センター担当者様とは日頃より頻回に相談させて頂けており、丁寧な説明や指導をして頂けています。 | 管理者は、毎月、市の担当窓口を訪問し、実績報告を行うとともに、情報共有を行っている。また、法改正や運営に関する疑問があった際には、電話で確認を行うなど、協力関係を築いている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束廃止委員会を立ち上げ、新入職員には身体拘束についての勉強会を行い、カンファレンス時、毎月の様に身体拘束についての話し合いを行っており、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。家族様にもその旨お知らせしています。 | 事業所では、身体拘束廃止委員会を設置している。毎月、勉強会を実施したり、身体拘束に当たる具体的な事例について協議したりして、職員間の知識・理解を深めている。職員は、身体拘束の内容や弊害について理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待防止委員会を立ち上げ、虐待について職員は理解していますが、外部研修に参加しカンファレンスで研修報告をしており全員で共通認識を深めています。言葉の虐待についてもカンファレンス時に接遇マナーを学ぶ施設研修を行っています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 1階 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 新しく入居された利用者様の家族様には権利擁護の説明をしており相談された時には個別に相談もさせて頂いています | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約締結時にはご本人様や、ご家族様に不安な事やご要望を尋ね契約事項に沿って十分な説明をしています。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 日頃より面会時等で意見や要望を尋ね月に1回の近況報告等でも担当者は改善の報告をしたりして個々でのコミュニケーションも図っています。運営推進会議や家族会でも話し合う機会を設けています。 | 職員は、日ごろの支援のなかで、利用者の話を傾聴し、思いや意向などを把握するよう取り組んでいる。家族等との関係も大切に捉え、家族の来訪時や家族会の際に、思いや意向などを気軽に話してもらえる雰囲気づくりに努めている。把握した意向等は、運営面に反映している。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 経営者はカンファレンスに参加し管理者は日頃より職員の意見や要望に耳を傾け、直ぐに改善を伝えるようにしています。話し合いが必要な内容についてはカンファレンスで話し合う機会を設けています。 | 管理者は、職員との日ごろの会話やカンファレンスの際に、意見や提案などを出しやすい雰囲気づくりに努めている。出された意見等について、職員間で協議・検討し、運営面に反映している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 就業規則により、子育てや介護、病気等に関する規定を設けている。また、特例的な措置にも対応可能な体制を構築しています | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員には順次、研修を受ける機会を設けており外部研修は月に1人は参加し職員のスキルアップ、またサービスの質の向上に努めている。カンファレンス時にはケアで気付いた点、改善した点等を共有できるよう話し合いの場を設けている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他施設との交流により情報交換に努めサービスの質の向上に努め、施設で活かせる取り組みを行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 1階 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 利用者様や、ご家族さまの希望や、困っていることに耳を傾け生活暦の把握をし信頼関係の構築に向けコミュニケーションを図り、要望に沿った支援を行っています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご自宅や他施設での生活について聞き取りをし、ご家族様が一番困っている事や不安な事を伺い、相談される家族様の立場になって、今後の方針について話し合っています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 当施設入所前の生活で困っていた事、またどのようなサービスを求めているのかを話し合い、事業所で行うサービスが実践できるよう支援しています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 日常生活において常に行動を共にし、役割分担をする事で職員が助けられる場面が、生活の色々な場面で見られており、共に学び、支えあい、信頼関係が築けています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会時には近況報告をし施設の行事時や、お便りなどでも利用者様の悩みや望みをお伝えし、ご家族様との外出の機会も増やして頂き、職員とご家族様が共に利用者様を支えていけるように支援しています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 入所時には面会についての希望を、お聞きして友人や近隣住民の方との面会が円滑に行えるように支援しています。利用者様一人ひとりの希望や要望に応じた支援を心がけています。 | 事業所では、利用者や家族等から、本人のこれまでの暮らし方や馴染みの関係について聞き取り、継続できるよう支援している。利用者の知人や元同僚などの来訪時には、気兼ねなく過ごしてもらえよう配慮している。また、家族等の協力を得て、墓参りや馴染みの店へ出かけることもある。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 職員は利用者様同士の関係がうまくいくように利用者様同士の関係を把握し、利用者様同士の関わり合いや支え合いを支援し孤立しないように努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 1階 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 利用者様が入転院に至った際には職員がお見舞いに行くようにしており、住み替えが必要となった場合はフェイスシートの作成をし、また退所後も、ご家族様が季節のお便りを下さったり近況が伺えている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 職員は日頃より利用者様とコミュニケーションを図り支援を行っており利用者様一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めています。 | 職員は、日ごろから、利用者に寄りそい、思いや意向などの把握するよう努めている。意思の表出が困難な場合は、家族等から情報を得るなどして、本人本意に検討している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 利用者様の馴染みの暮らし方、生活環境を本人様やご家族、面会者様よりお聞きし情報収集しサービス利用の経過等の把握に努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの得意なこと、能力に応じた役割分担、体操やバイタルチェック、会話等コミュニケーションによる体調不良の早期発見に努めています。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人やご家族様から希望やご要望をお聞きし職員と話し合い、ご本人の現状に即した介護計画作成に努めています。 | 事業所では、利用者や家族等の意見などを踏まえつつ、介護計画書を作成している。定期的にモニタリングを行い、利用者の現状に即した計画となるよう見直している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子や介護計画を活かしたケアの実践、気づきや工夫を生活記録や日誌に記入して職員間で情報の共有し実践や介護計画の見直しに取り組んでいます。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 緊急時の入院や病院受診時等その時々々の状況に応じて本人様ご家族様の要望に対して柔軟な対応に努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|------|---|------|--|------|--|
| | | | 1階 | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | | 理美容は出張理美容を利用させて頂き歯科受診が困難なご利用者様には訪問診療にて対応させて頂いています。ご利用者様の心身状態に応じた対応を心がけています。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | | ご本人様、ご家族様と相談させて頂いた上でかかりつけ医や納得された医療機関の受診をして頂いています。適切な医療を受けられるよう支援しています。 | | 事業所では、利用者や家族等の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関以外を受診する際は、家族等の協力を得ている。受診結果等については、家族等や関係機関とも共有している。 |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | | 県訪問看護協会の訪問看護師との連携により週1回の訪問看護にて健康管理をして頂いている。個々の利用者様が適切な受診や看護を受けられるように医療機関や訪問看護協会との連携を図っている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | | ご家族様に状況確認をさせて頂くと共に職員も交代で面会に行き病院関係者との関係づくりや情報交換をし退院の予定や今後について話し合うようにしています。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | | 重度化した場合や終末期について早い段階から本人様ご家族様と相談し協力医療機関とも相談しながら今後の治療方針や看取りについての方針を確認させて頂きチームで支援に取り組んでいます。 | | 事業所では、入居時の段階で、重度化した場合や終末期の対応について、利用者や家族等に説明している。心身の状況の変化に応じて、家族や関係機関と相談している。緊急時に医療機関と連携・協力する体制も確立している。 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | | カンファレンス時に勉強会を行い緊急時の対応、事故発生時に備え応急手当や初期対応の手法や方法を身につけています。また、AEDの使用方法についても専門の方を招き勉強会を開催したり、個々で消防署まで出向き講習を受けています | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | | 年2回の防災訓練を行い、避難場所を協力病院と決めておりますが、災害の多様化に対応できるように地域住民の協力を得られる体制づくりを目指しています。 | | 今後は、地域住民の理解や協力が得られるよう、働きかけることに期待したい。また、夜間に災害が起きた場合を想定して、実践的な訓練を実施することが望まれる。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 1階 | | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 自己評価 | 外部評価 | |
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ご利用者様の自尊心やプライバシーを損ねないように言葉かけや対応には十分な配慮をした支援を心がけています。 | 事業所では、利用者の誇りやプライバシーに配慮して支援している。毎日、ミーティングの際に、権利擁護の観点から気づいたことを出しあい、改善策について協議している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日々の関わりの中で、その時々言葉や表情から読み解き理解し、本人様の思いや希望の表出、自己決定が出来る様に支援しています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者様一人ひとりのペースに合わせて生活して頂ける様に言葉かけや支援を行っています。また、散歩や買い物や外食など希望に沿った支援を心がけています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 起床時の整容ケア、季節に応じた衣類の選択、入浴後の肌のお手入れや髭剃り等 整容やおしゃれなどを支援しています。入居者様と、ご家族様の好みにより、訪問美容、訪問理容を選んで頂いたり、馴染みの美容室の利用もして頂いています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | メニューは利用者さまの希望や好みのメニューを取り入れ野菜やミカンの皮むき、豆の筋とり、などを日常的にしています。小鉢の盛付をお願いしたり、後は食器を洗ったり、テーブルを拭いたり職員と共に準備し、後片づけをしています。 | 食事は、利用者の好みを確認しつつ、職員間で栄養バランスなどを考慮して、メニューを決め、調理している。利用者には、野菜や果物の皮むきや料理の盛り付けなどを手伝ってもらうことで、楽しく食事をすることができるようになっている。また、行事食やおやつ作りにも取り組んでいる。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事摂取量、水分量記録し一日の摂取量を満たしています。入浴後、体操後等、水分補給して頂き食事量少ない利用者様が食べ易いように形状工夫したり家族様に了解得て栄養補助食品を提供したり一人ひとりに合わせた支援をしています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 一人ひとりの状態を把握した口腔ケアや生活習慣を取り入れ、毎食後の歯磨き支援や、義歯使用の方には夕食後洗剤の使用にて消毒を行い清潔保持に努める支援をしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 1階 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 利用者様一人ひとりの能力に応じた支援を心掛け排泄のサインを見逃さず、パターンや時間を把握し、できるだけトイレで気持ちよく排泄できるよう支援しています。また、ご家族様の意向に添った支援にも心掛けています。 | 職員は、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握している。把握したパターンに基づいて、声かけや誘導を行い、できる限りトイレで排泄することができるよう支援している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 便秘がちの方が多く理解したうえで 軟下剤の服用や運動、水分摂取、食物繊維、果物、乳製品等摂取して頂き便秘の予防を行っています。便秘もマイナス3日で排便していただける様、排便のチェックを毎日行い対応。申し送りもしています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入居者様一人ひとりの希望や体調、状態に応じて入浴をして頂いています。入浴を拒む利用者様には職員を替えたり、時間を替えての言葉かけを行い、理由を聞き対応、必要であれば、ご家族面会時の入浴をお願いしています。 | 事業所では、週3回は入浴できるよう支援している。利用者の希望や心身の状況に合わせて、時間やタイミングを変えることもある。また、車椅子の利用者には、シャワー浴を行うなど、個別の状況にも配慮している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人ひとりの生活習慣の把握をし、個々の対応を心掛け、日中の環境を整え夜間の安眠につなげる支援を行っています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の目的や副作用、用途容量を理解し症状の変化や安定について職員間で話し合い毎週の主治医の往診や隔週の訪問看護時には報告しています。投薬時の確認も厳重に行い変更時間違いの無いよう職員間で情報の共有を行っています | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 利用者様の好みや生活習慣に合わせた役割分担ができており、得意分野での活躍生きがいや励みにされ生活されている。今年も地域の文化祭やお祭りに作品を出展する事が決まっております作品作りをして下さっている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 以前は年間行事としてのお花見や、遠足を企画していましたが、ご家族様も高齢となりつつあり最近では個別での買い物やドライブ、地域の喫茶店へ、スイーツを食べに行くなど外出支援を行い、季節により筋力強化を兼ねた散歩もケアプランに取り入れて気分転換につなげる支援をしています。 | 事業所では、気候のよい日には近隣を散歩したり、庭先の花の水やりをしたりして、利用者が戸外に出る機会を設けている。一人ひとりの希望に応じて、買い物や喫茶店に出かけることもある。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 1階 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 職員は、ご利用者が、お金を持ち管理することの大切さを理解しており、ご家族様と相談し希望や能力に応じて所持して頂いている。買い物や外出に応じて支援させて頂いています。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族様が携帯電話を用意されているご利用者様については要望に合わせ連絡の支援をさせて頂いています。また、固定電話からの連絡の仲介役となったり、季節のお便り、手作り絵手紙の支援もさせて頂いています。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用の空間には庭やプランターで咲いた草花を生けたり、玄関や中庭、日当たりのよい花壇では季節ごとの草花を育て穏やかで心地良い空間の提供を。リビングはできる限りシンプルで馴染みのある空間づくりをめざし、浴室やトイレは分かりやすい表札での案内をしています。 | 共用空間は明るく、掃除が行き届き、清潔感を保っている。玄関やリビングには、職員が持ち寄った花を飾り、季節感を感じる事ができるようにしている。壁面には、利用者が作った作品などを掲示して、居心地よく過ごす事ができるようにしている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビングのソファやダイニングテーブルの椅子に座られ気の合った仲の良い利用者様同士で会話をしたり、工作をしたり、一人でパズルをしたりと思い思いに過ごせるようにしています。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご家族様と写した写真ですとか趣味や好みの装飾品、テレビ、冷蔵庫、扇風機等、ご本人様に合わせて、ご家族様が用意されています。職員は利用者様と相談し、ご家族様に要望を伝える支援をしています。 | 居室には、利用者の使い慣れた家具などを持ち込んでもらっている。本人や家族等と相談しつつ、安心して過ごす事ができる居室となるよう、支援している。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 建物内部の洗面所、トイレ、洗濯場などの共用部分には目印をかけたり、歩行ルート of 安全確保をして、できる事、わかる事を生かして、安全かつ自立した生活が送れる」ように工夫している。 | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 自己評価 | 自己評価 |
|-------------------|-----|--|---|------|------|
| | | | 2階 実践状況 | 実践状況 | 実践状況 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 職員全員で地域密着型の理念の意義をふまえた支援に取り組んでいます。 | | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 地域の老人会の方々、約15名との2ヶ月に1回のカラオケ大会交流会、保育園児とのクリスマス会での交流会では、お遊戯や歌の披露、プレゼント交換。神社お祭りの掃除の手伝いと、お祭り作品展参加、文化祭作品展と交流も増えている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 11月16日、地域住民様、地域老人会、他施設職員、電気保安管理事務所様、利用者家族様に、呼びかけ、徳島市東消防署より3名の講師をお迎えし、普通救命講習を開催し21名が普通救命講習修了書を交付して頂き参加者様には楽しく学べた、また参加したいと言って頂けた。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では外部評価での結果を報告し、今後の取り組みについて話しあっています。研修報告、地域の行事等の情報も聞けており運営推進会議で出された意見を日ごろのケアにも反映しており、毎回講師の先生をお招きし勉強会を開催 | | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 市町村担当者様や包括支援センター担当者様とは日頃より頻回に相談させて頂けており、丁寧な説明や指導をして頂けています。 | | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束廃止委員会を立ち上げ、新入職員には身体拘束についての勉強会を行い、カンファレンス時、毎月の様に身体拘束についての話し合いを行っており、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。家族様にもその旨お知らせしています。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待防止委員会を立ち上げ、虐待について職員は理解していますが、外部研修に参加しカンファレンスで研修報告をしており全員で共通認識を深めています。言葉の虐待についてもカンファレンス時に接遇マナーを学ぶ施設研修を行っています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 2階 | 自己評価 | 自己評価 |
|----|-----|--|------|--|------|------|
| | | | 実践状況 | | 実践状況 | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | | 新しく入居された利用者様の家族様には権利擁護の説明をしており相談された時には個別に相談もさせて頂いています | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | | 契約締結時にはご本人様や、ご家族様に不安な事やご要望を尋ね契約事項に沿って十分な説明をしています。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | | 日頃より面会時等で意見や要望を尋ね月に1回の近況報告等でも担当者は改善の報告をしたりして個々でのコミュニケーションも図っています。運営推進会議や家族会でも話し合う機会を設けています。 | | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | | 経営者はカンファレンスに参加し管理者は日頃より職員の意見や要望に耳を傾け、直ぐに改善を伝えるようにしています。話し合いが必要な内容についてはカンファレンスで話し合う機会を設けています。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | | 就業規則により、子育てや介護、病気等に関する規定を設けている。また、特例的な措置にも対応可能な体制を構築しています | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | | 職員には順次、研修を受ける機会を設けており外部研修は月に1人は参加し職員のスキルアップ、またサービスの質の向上に努めている。カンファレンス時にはケアで気付いた点、改善した点等を共有できるよう話し合いの場を設けている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | | 他施設との交流により情報交換に努めサービスの質の向上に努め、施設で活かせる取り組みを行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 自己評価 | 自己評価 |
|------------------------------|-----|--|---|------|------|
| | | | 2階 実践状況 | 実践状況 | 実践状況 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 利用者様や、ご家族さまの希望や、困っていることに耳を傾け生活歴の把握をし信頼関係の構築に向けコミュニケーションを図り、要望に沿った支援を行っています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご自宅や他施設での生活について聞き取りをし、ご家族様が一番困っている事や不安な事を伺い、相談される家族様の立場になって、今後の方針について話し合っています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 当施設入所前の生活で困っていた事、またどのようなサービスを求めているのかを話し合い、事業所で行うサービスが実践できるよう支援しています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 日常生活において常に行動を共にし、役割分担をする事で職員が助けられる場面が、生活の色々な場面で見られており、共に学び、支えあい、信頼関係が築けています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会時には近況報告をし施設の行事時や、お便りなどでも利用者様の悩みや望みをお伝えし、ご家族様との外出の機会も増やして頂き、職員とご家族様が共に利用者様を支えていけるように支援しています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 入所時には面会についての希望を、お聞きして友人や近隣住民の方との面会が円滑に行えるように支援しています。利用者様一人ひとりの希望や要望に応じた支援を心がけています。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 職員は利用者様同士の関係がうまくいくように利用者様同士の関係を把握し、利用者様同士の関わり合いや支え合いを支援し孤立しないように努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 2階 | 自己評価 | 自己評価 |
|------------------------------------|------|--|--|----|------|------|
| | | | 実践状況 | | 実践状況 | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 利用者様が入院に至った際には職員がお見舞いに行くようにしており、住み替えが必要となった場合はフェイスシートの作成をし、また退所後も、ご家族様が季節のお便りを下さったり近況が伺えている。 | | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 職員は日頃より利用者様とコミュニケーションを図り支援を行っており利用者様一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めています。 | | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 利用者様の馴染みの暮らし方、生活環境を本人様やご家族、面会者様よりお聞きし情報収集しサービス利用の経過等の把握に努めています。 | | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 一人ひとりの得意なこと、能力に応じた役割分担、体操やバイタルチェック、会話等コミュニケーションによる体調不良の早期発見に努めています。 | | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人やご家族様から希望やご要望をお聞きし職員と話し合い、ご本人の現状に則した介護計画作成に努めています。 | | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子や介護計画を活かしたケアの実践、気づきや工夫を生活記録や日誌に記入して職員間で情報の共有し実践や介護計画の見直しに取り組んでいます。 | | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 緊急時の入院や病院受診時等その時々状況に応じて本人様ご家族様の要望に対して柔軟な対応に努めています。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 2階 | 自己評価 | 自己評価 |
|----|------|---|--|----|------|------|
| | | | 実践状況 | | 実践状況 | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 理美容は出張理美容を利用させて頂き歯科受診が困難なご利用者様には訪問診療にて対応させて頂いています。ご利用者様の心身状態に応じた対応を心がけています。 | | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご本人様、ご家族様と相談させて頂いた上でかかりつけ医や納得された医療機関の受診をして頂いています。適切な医療を受けられるよう支援しています。 | | | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 県訪問看護協会の訪問看護師との連携により週1回の訪問看護にて健康管理をして頂いている。個々の利用者様が適切な受診や看護を受けられるように医療機関や訪問看護協会との連携を図っている。 | | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ご家族様に状況確認をさせて頂くと共に職員も交代で面会に行き病院関係者との関係づくりや情報交換をし退院の予定や今後について話し合うようにしています。 | | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化した場合や終末期について早い段階から本人様ご家族様と相談し協力医療機関とも相談しながら今後の治療方針や看取りについての方針を確認させて頂きチームで支援に取り組んでいます。 | | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | カンファレンス時に勉強会を行い緊急時の対応、事故発生時に備え応急手当や初期対応の手技や方法を身につけています。また、AEDの使用方法についても専門の方を招き勉強会を開催したり、個々で消防署まで出向き講習を受けています | | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回の防災訓練を行い・避難場所を協力病院と決めておりますが、災害の多様化に対応できるように地域住民の協力を得られる体制づくりを目指しています。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 2階 | 自己評価 | 自己評価 |
|----------------------------------|------|--|---|----|------|------|
| | | | 実践状況 | | 実践状況 | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | ご利用者様の自尊心やプライバシーを損ねないように言葉かけや対応には十分な配慮をした支援を心がけています。 | | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日々の関わりの中で、その時々言葉や表情から読み解き理解し、本人様の思いや希望の表出、自己決定が出来る様に支援しています。 | | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者様一人ひとりのペースに合わせて生活して頂ける様に言葉かけや支援を行っています。また、散歩や買い物や外食など希望に沿った支援を心がけています。 | | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 起床時の整容ケア、季節に応じた衣類の選択、入浴後の肌のお手入れや髭剃り等 整容やおしゃれなどを支援しています。入居者様と、ご家族様の好みにより、訪問美容、訪問理容を選んで頂いたり、馴染みの美容室の利用もして頂いています。 | | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | メニューは利用者さまの希望や好みのメニューを取り入れ野菜やミカンの皮むき、豆の筋とり、などを日常的にして頂いています。小鉢の盛付をお願いしたり、後は食器を洗ったり、テーブルを拭いたり職員と共に準備し、後片づけをしています。 | | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事摂取量、水分量記録し一日の摂取量を満たしています。入浴後、体操後等、水分補給して頂き食事量少ない利用者様が食べ易いように形状工夫したり家族様に了解得て栄養補助食品を提供したり一人ひとりに合わせた支援をしています。 | | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 一人ひとりの状態を把握した口腔ケアや生活習慣を取り入れ、毎食後の歯磨き支援や、義歯使用の方には夕食後洗浄剤の使用にて消毒を行い清潔保持に努める支援をしています。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 2階 | 自己評価 | 自己評価 |
|----|------|---|---|----|------|------|
| | | | 実践状況 | | 実践状況 | |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 利用者様一人ひとりの能力に応じた支援を心掛け排泄のサインを見逃さず、パターンや時間を把握し、できるだけトイレで気持ちよく排泄できるよう支援しています。また、ご家族様の意向に添った支援にも心掛けています。 | | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 便秘がちの方が多く理解したうえで、軟下剤の服用や運動、水分摂取、食物繊維、果物、乳製品等摂取して頂き便秘の予防を行っています。便秘もマイナス3日で排便していただける様、排便のチェックを毎日行い対応。申し送りもしています。 | | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入居者様一人ひとりの希望や体調、状態に応じて入浴をして頂いています。入浴を拒む利用者様には職員を替えたり、時間を替えての言葉かけを行い、理由を聞き対応、必要であれば、ご家族面会時の入浴をお願いしています。 | | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人ひとりの生活習慣の把握をし、個々の対応を心掛け、日中の環境を整え夜間の安眠につなげる支援を行っています。 | | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の目的や副作用、用途容量を理解し症状の変化や安定について職員間で話し合い毎週の主治医の往診や隔週の訪問看護時には報告しています。投薬時の確認も厳重に行い変更時間違いの無いよう職員間で情報の共有を行っています | | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 利用者様の好みや生活習慣に合わせた役割分担ができており、得意分野での活躍を生きがいや励みにされ生活されている。今年も地域の文化祭やお祭りに作品を出展する事が決まっております。作品作りをして下さっている。 | | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 以前は年間行事としてのお花見や、遠足を企画していましたが、ご家族様も高齢となりつつあり最近では個別での買い物やドライブ、地域の喫茶店へ、スイーツを食べに行くなど外出支援を行い、季節により筋力強化を兼ねた散歩もケアプランに取り入れて気分転換につなげる支援をしています。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 2階 | 自己評価 | 自己評価 |
|----|------|--|---|----|------|------|
| | | | 実践状況 | | 実践状況 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 職員は、ご利用者様が、お金を持ち管理することの大切さを理解しており、ご家族様と相談し希望や能力に応じて所持して頂いている。買い物や外出に応じて支援させて頂いています。 | | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族様が携帯電話を用意されているご利用者様については要望に合わせ連絡の支援をさせて頂いています。また、固定電話からの連絡の仲介役となったり、季節のお便り、手作り絵手紙の支援もさせて頂いています。 | | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用の空間には庭やプランターで咲いた草花を生けたり、玄関や中庭、日当たりのよい花壇では季節ごとの草花を育て穏やかで心地良い空間の提供を。リビングはできる限りシンプルで馴染みのある空間づくりをめざし、浴室やトイレは分かりやすい表札での案内をしています。 | | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビングのソファやダイニングテーブルの椅子に座られ気の合った仲の良い利用者様同士で会話をしたり、工作をしたり、一人でパズルをしたりと思い思いに過ごせるようにしています。 | | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご家族様と写した写真ですとか趣味や好みの装飾品、テレビ、冷蔵庫、扇風機等、ご本人様に合わせて、ご家族様が用意されています。職員は利用者様と相談し、ご家族様に要望を伝える支援をしています。 | | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 建物内部の洗面所、トイレ、洗濯場などの共用部分には目印をかけたリ、歩行ルート の安全確保をして、できる事、わかる事を生かして、安全かつ自立した生活が送れる」ように工夫している。 | | | |